

# 海市より

## 連作和歌 百首歌集

2007/4/3-8/23

7801	海市よりチンタオビール来ると云ふ彼は世界へ吾は残れり	海月	4月3日 13時23分
7802	緑色の壇の青島麦酒(チンタオビール)飲むわが旧友の名は青島ぞ	弁慶	4月4日 07時06分
7803	周易の書を吾に賜ふ碩学の徳称へなむ 先輩乾杯(xianbei ganbei)	丹仙	4月4日 11時25分
7804	易経を需めど読まずそのままに書架へ放置の十数年かな	弁慶	4月4日 12時42分
7805	殊勝にも整理などして本棚の折り目すら無き本に驚く	蘇生	4月7日 16時27分
7806	本棚の少しのはざに備前焼きThe Venetianと吉田屋ならぶ	れん	4月8日 00時38分
7807	柿若葉雨後の光に映えにけり織部の皿の緑の如く：	弁慶	4月8日 06時36分
7808	沸々と小枝に萌ゆる早緑の相似形なる柿若葉かな	蘇生	4月8日 11時58分
7809	復活の朝はさみどり聖堂に少年の歌弥撒始まりぬ	丹仙	4月9日 10時03分
7810	歌ミサの流るるとき清らかさキリエレーゾンいつの日なりし	れん	4月9日 20時43分
7811	さみどりのひろきくさはらひとすじのみずのながれのおとかすかなり	弁慶	4月10日 06時54分
7812	列強の支配の跡を残しつつ山東半島青島(チンダオ)は春	蘇生	4月13日 05時49分
7813	自転車の一漕ぎ毎に春深む雉鳴きしきる手賀の里山	やんま.	4月13日 07時53分
7814	紅白のハナミズキの花咲きにけり小さき街の春のしるしに	弁慶	4月13日 08時54分
7815	美國は廣し初夏(はつなつ)の檸檬の花を懐かしみ薄氷(うすらひ)解けぬプリマスへ行く	丹仙	4月13日 11時26分
7816	アメリカとそしてハワイと部屋せまく時は束のま打ち解けて集ふ	れん	4月14日 13時52分

7817	プリマスは北緯50度北の国風邪めさるるな丹仙先生	弁慶	4月15日 01時04分
7818	ボストンに近きと思うプリマスの当地の春ははや開けるらん	蘇生	4月15日 07時39分
7819	古き良きアメリカ憶ふプリマスの風直くなりや明らかなりや	真奈	4月15日 07時41分
7820	アメリカは帰らざる日々遠つ夢ドボルザークを聴きつつ想ふ	ギオ	4月16日 02時26分
7821	幼き日庭を行き交う鶏の中に大きなプリモスロック	弁慶	4月16日 11時19分
7822	歌仙巻くこちらの衆は三人であとの二人は遠つ大陸	蘇生	4月16日 18時56分
7823	若葉なる銀杏並木は遠きひに櫻なりしを聞きし思ほゆ	れん	4月17日 21時35分
7824	春の雨さびしく降りて葉桜の名残の花も未練と見ゆる	ギオ	4月18日 00時59分
7825	雨という予報にゴルフ中止せり無為の居待ちの恨めしき今	蘇生	4月18日 10時38分
7826	キャンパスの悲報を聞きしプリマスの夜は夜もすがら氷雨ぞ荒ぶ	丹仙	4月19日 19時33分
7827	雨寒し 春の気ままに 猫丸く 悲しみ血塗る 人は恥じねば	眞	4月20日 01時03分
7828	何がホモ・サピエンスか、卑劣なる銃口こよひも誰が胸を衝く	ギオ	4月20日 02時00分
7829	平和の徒 市民の代表を 背後から 襲ひしものよ 我等許さじ	真奈	4月21日 10時05分
7830	際なしき銃の悲しみ何ゆゑぞ無念の極み忌まはしきかな	蘇生	4月21日 11時12分
7831	かけがへなき人の命を奪ふもの人の作りし銃といふもの	ぽぽな	4月21日 23時24分
7832	初対面なれど嘆きの肩抱（いだ）く半旗のもとに集（つど）ふ学舎(まなびや)	丹仙	4月24日 00時38分
7833	公論で護身に銃は必要と説く識者らのアメリカは今	蘇生	4月24日 16時10分
7834	戦ごと全て正義に発すれど諸悪はなべてここに始まる	やんま	4月24日 17時51分
7835	真っ先に己の命絶てよかしさすれば犠牲は一人にて済む	弁慶	4月25日 02時39分
7836	若葉風無何有の郷の人の逝く数多御教脳裡をめぐる	寂	4月27日 00時03分
7837	大志もて世に出で早も五十年エルムの夏にいざや集わん	蘇生	4月28日 09時51分

7838	秀才はエルムの並木を仰ぎつつ北極星を厳かに見る	弁慶	4月28日 22時16分
7839	エンレイ草手稲の山と娘はうたい北の大地を只駈けぬけし	寂	4月29日 10時35分
7840	遠望の手稲の嶺は穀雨とて氷の冬のままだに聳ゆる	蘇生	4月29日 15時41分
7841	藻岩山頂きに立ちて眺むれば眼下に広がる札幌の街	弁慶	4月30日 01時05分
7842	邂逅の友の旅立つ早朝(つとめて)は美国の五月青の一色(ひといろ)	丹仙	5月4日 03時52分
7843	すこぶるに海山なべて耀ひて臯月の色は青に喩ふる	蘇生	5月4日 08時37分
7844	青一髪波の彼方に朧なる伊豆の七島見えにけるかな	弁慶	5月4日 12時00分
7845	祝福の水を受けたる少女(をとめ)らの髪耀ひて衣(ころも)ぬらせり	聖母教会 にて 丹	5月7日 11時06分
7846	生前に案じて父母は受戒せりその心根を今し覚えり	蘇生	5月8日 16時26分
7847	オトンも逝きオカンも病めり懐かしの東京タワーをひとりし登る	ギオ	5月9日 00時25分
7848	そのかみの麻布十番北の空組み立て半ばの東京タワー	弁慶	5月10日 08時49分
7849	薄曇る空のかなたの定めなく鉄塔のさきは灰明かりして	れん	5月12日 15時45分
7850	魅入られた街は眠らぬ観覧車ガラス細工の光輪となり	真奈	5月12日 23時46分
7851	忘却は闇へと上る大観覧車かの夜もかの日も眼下の光	ギオ	5月15日 01時30分
7852	忘れかね面影橋を渡るたび君の横顔亜麻色の髪	弁慶	5月15日 01時57分
7853	けぶりたる八百八町展望す東京ミッドタウン楼閣	蘇生	5月15日 16時17分
7854	湯けむりの峪の流れの音を聴く遅きさくらの白骨の宿	寂	5月22日 17時18分
7855	オホーツクの海風吹けば春なれや千島桜の花咲きにけり	弁慶	5月23日 02時44分
7856	早朝は春の囀り夏の日の沈みし後は初秋になりて虫の音我が宿舎なり	丹仙	5月27日 00時13分
7857	折々の和歌に託せり今宵また遠つ国から恙無きこと	蘇生	ご無事の帰国を 5月27日 07時07分
7858	折々にiPodなりし讚美歌をすずやかに聴く空を飛ぶ鳥	れん	5月31日 11時06分

7859	三月経て美国加州より帰りくる恙なき旅祝ふ朝焼け	真奈	6月1日 06時09分
7860	時差得を返し母国の朝ぼらけ旅の疲れを疾く癒されよ	蘇生	6月1日 06時51分
7861	時差故に寝呆けし眼(まなこ)旅の空(そら)窓を開けば美(は)しきわが國	丹仙	6月2日 23時25分
7862	帰り来て眼下に成田の滑走路近きは筑波富士は遠きに	弁慶	6月7日 00時12分
7863	路の辺にあをき実をつけ無花果の倒れてふせり空は稲妻	れん	6月11日 19時42分
7864	あぢさゐの青を上へと手繰りゆけば梅雨の晴れ間の空に続けり	雛菊	6月16日 12時54分
7865	揺たひし大海原の豊かなる生きとし生けるものの夏なり	蘇生	6月17日 17時49分
7866	腑に落ちる江戸川柳はかく言ひし「腹の立つとき見るための海」	真奈	6月19日 09時36分
7867	北辰に思いをはせて半世紀いざや憩わん楡の木陰に	蘇生	6月20日 18時34分
7868	ひさびさに桃李に憩ふ一夏の思ひは常に心敬芭蕉	丹仙	6月25日 11時18分
7869	「ささめごと」正徹書記が授けしは相模大山権大僧都	弁慶	6月27日 06時37分
7870	梅雨空に富士は見えねど大山の稜は幽かに見え隠れけり	蘇生	6月27日 09時49分
7871	谷底より湧きくるやうに河鹿啼くせつなく哀し求愛の夏	雛菊	7月3日 10時13分
7872	渡らむと思えど速き流れかな赤蛙公園伊豆の修善寺	弁慶	7月3日 12時15分
7873	夏潮の迸りたる磯の辺に小魚の群れがつと翻る	蘇生	7月5日 06時19分
7874	蓮寺の庭に聞きたりし郭公よ今朝の風はも秋にも似たり	れん	7月5日 18時11分
7875	睡蓮の花咲き見れば泰西の印象派なるモネのかの絵よ	弁慶	7月6日 19時58分
7876	カンナ咲く根府川駅はどうだろか雨はぴっちゃんとかんといふ	海月	7月12日 16時12分
7877	ひたすらに不敵なところを育てつつ根府川のカンナよ今年また咲くや	真奈	7月13日 00時00分
7878	梅雨に濡れし根府川石のやわらかな色に似合いの七変化かな	弁慶	7月13日 07時11分
7879	梅雨寒のなみの被災地傷ましやせめて明日は晴れよと祈る	雛菊	7月17日 18時59分

7880	出雲崎波路はるかに良寛の母の生まれし佐渡島見ゆ	弁慶	7月19日 23時32分
7881	はるかなる友に巡りに支えられ今日も明るく生くるを得たり	れん	7月20日 17時16分
7882	自分史を刻みて既に五十年朋友集う楡の木蔭に	蘇生	7月21日 09時51分
7883	一本の楡の木蔭に集いしはテニスクラブの女子高生かな	弁慶	7月30日 23時19分
7884	恥の字は女高生でも知りをるに敗れて辞めぬ監督もをり	深海鮫鯨	7月31日 19時54分
7885	大本の支持は紛れの無きこととなぜに思うや長の驕りぞ	蘇生	8月2日 06時35分
7886	今の世は憲法こそがよからぬと説かば荒れゆく里山の秋	深海鮫鯨	8月2日 21時55分
7887	往昔に和の法説きて亡びたる君夢殿にあり何想ふらむ	丹仙	8月3日 22時31分
7888	柿食べて鐘音聞きし法隆寺子規に倣いしかの日懐かし	弁慶	8月5日 11時51分
7889	法隆寺背にして写る小学校修学旅行スナップのひとつ	れん	8月5日 17時42分
7890	八月の鐘は広島長崎の子らの願ひを世界へ伝ふ	深海鮫鯨	8月5日 22時07分
7891	八月の祈りの海に幾千の魂魄の声風のまにまに	真奈	8月7日 23時09分
7892	重力によりて光も曲がりしか聖母の空を仰ぐ八月	丹仙	8月9日 23時04分
7893	ゆがみたるひかりのりろん白日にれきしのとびら八月のそら	れん	8月10日 08時13分
7894	血の叫びなほも絶えずや八月の珊瑚の海よ真白き浜よ	ぎを	8月11日 00時00分
7895	天皇のお言葉聞かむと晴着きてラジオの前に畏みし日よ	真奈	8月15日 08時23分
7896	北国のかの日は暑きスッピンの警報も無き玉音の空	蘇生	8月15日 17時54分
7897	その母の防空頭巾水掛けて墨田の川にわれと潜みし	やんま.	8月19日 08時00分
7898	八月の蒼き空なり下痢続く安らかになぞたれが眠るか	海月	8月21日 19時40分
7899	〇〇〇〇のあとを詠ひし鶴彬読めない奴は政り事するな	真奈	8月23日 08時05分
7900	手も足も奪はれて書く北條の命の火影(ほむら)日記読むなり	丹仙	8月23日 14時31分